

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2023年12月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

民主市政の会
醍醐桃山南連絡会

「市政を語るつどい」パート2開催！！



民主市政の会醍醐桃山南連絡会主催で、「京都市政を語る会」パート2が開かれました。福山和人さんの選挙母体「つなぐ京都 2024」から、事務局長の福島さんが市長選挙をめぐる情勢報告をされました。西野市会議員からは、門川市政 16 年間で何が行われてきたか、「財政破綻する」と市民を脅してきたのは何だったのか、その結果、市民生活がどうなってきたのか、などについて資料を示しながらの報告がありました。会場からは「敬老乗車証が2倍、3倍になってどれだけの人があきらめざるを得なくなっているか。外に出る回数が減り、病気になる率が高くなる」「保育所の補助金が減らされ、給料が減り、保育士をあきらめる

人が増えている。11年目で昇給ストップになるが、市内の保育士の6割が11年以上勤務。子どもたちのためにも昇給が必要」などの訴えがあり、馬場府会議員からは「自民党が担ぎ出した人と自民党のひとと第2自民党という維新が担ぐひとと福山さんの対決。自民党との対決ということ」との話がありました。政治の潮目が変わってきています。京都市政が変われば自民党政治にも大きな影響が出ます。福山和人さんを市長にして政治を変えましょう！



暮らしの願い実現へ、議会に声を届けて徹底論戦！！

東部クリーンセンター跡地利用の 請願を議論

12月5日に開催された総務消防委員会で「東部クリーンセンターの跡地利用」についての請願が審議されました。赤阪議員の質問に対し理事者は「老人保養施設や図書館も一体に活用する」と答弁がありました。11月の都市計画審議会でも共産党議員の「2つの施設を残すべき」との質問に「後を引き継ぐ事業者に伝える」との答弁があり、京都市はクリーンセンター跡地と一体で民間事業者売却するつもりです。老人保養施設は毎日お風呂に通っている方も多い状況です。図書館は、山科から山科川の土手沿いに自転車で行けばすぐなので、よく利用するという方もおられます。クリーンセンターの跡地については、住民の皆さんから「高齢者施設を」「子どもが自由に遊べる公園を」などの声が出されています。民間に売却すべきではありません。請願は留保になり、引き続き議論されます。さらに声を上げて、市民の財産を守りましょう。

東部クリーンセンター跡地の 「土壌調査」5千万円

今議会に提案された補正予算の内、東部クリーンセンター跡地の土壌調査費用について、5000万円が提案されました。地表50センチの土壌を汚染が比較的多いと



考えられる場所は10mメッシュで採取するというものです。西野議員は調査の仕方や跡地を「市有地一覧リスト」にのせて、事業者への売却を進めようとしていることについて質問しました。今年4月に都市計画の見直しや12月の商業集積ガイドプランの見直しで、高層ビルや大規模な商業施設が可能となりましたので、京都市は「開発の機運が高まっている。人口減少対策の絶好のタイミング」と売却を前提とした答弁を繰り返しました。橋村議員（自民党）からは、「石田小学校がR6年度で閉校になる。クリーンセンター跡地と一体化して活用すべき」と提案されました。西野議員は「高齢者施設や公園」を望む声があるので「地元の声は「公対協」や「十連協」の役員だけでなく、広く住民の声を聴き、売却ではなく市民のための活用をすべき。石田小との一体化はすべきでない」と質しました。